

中国高校生友好交流大使 500 人訪日団第 3 陣
訪問日程 2015 年 12 月 13 日（日）～ 12 月 19 日（土）

1 プログラム概要

中国教育部が派遣した中国高校生友好交流大使500人訪日団第3陣計294名が、12月13日から12月19日までの6泊7日の日程で来日しました（総団長＝趙 琳（ザァオ リン）、黒龍江省教育庁副庁長）。

本事業は 2015 年 5 月に二階俊博・自民党総務会長が率いた 3,000 人の「日中観光文化交流団」の訪中を契機として実施が決まり、本団は、第 1 陣から第 3 陣まで中国高校生 500 名を招聘する計画の第 3 陣として実施しました。訪日団は、日本各地を訪問し、科学技術、歴史文化に関する視察を含め、さまざまな分野における日本の魅力、強みを体感したほか、学校交流・訪日記念植樹や、ホームビジット・ホームステイ等を通じて、日本の高校生や一般市民との友好交流と相互理解を深めました。

2 日程

12 月 13 日（日）

成田国際空港、羽田空港より入国

A コース 1・2 号車、B コース、C コース 1・2 号車：浅草見学

A コース 3 号車：お台場散策

オリエンテーション

12 月 14 日（月）

セミナー「未来志向の異文化交流～中日友好促進に向けて～」

A コース：東京都庁展望所見学

B コース：お台場散策

C コース：増上寺見学

日本科学未来館視察

歓迎会

12 月 15 日（火）

A コース：福井県へ移動、恐竜博物館見学、商業施設視察

B コース：北海道へ移動、北海道博物館見学、北海道庁表敬訪問、歓迎交歓会

C コース：奈良県へ移動

1・2 号車：奈良県立高取国際高等学校との交流・訪日記念植樹

3 号車：奈良県立桜井高等学校との交流・訪日記念植樹

日本文化体験（和風旅館泊）

12月16日（水）

Aコース：福井県庁表敬訪問

- 1号車：福井県立足羽高等学校との交流・訪日記念植樹
 - 2号車：福井県立丸岡高等学校との交流・訪日記念植樹
 - 3号車：福井県立武生東高等学校との交流・訪日記念植樹
- ホームビジット

Bコース：北海道コカ・コーラボトリング工場視察

- 1号車：北海道札幌東高等学校との交流・訪日記念植樹贈呈
 - 2号車：北海道札幌東陵高等学校との交流・訪日記念植樹贈呈
 - 3号車：北海道千歳高等学校との交流・訪日記念植樹贈呈
- ホームビジット

Cコース：東大寺・奈良公園見学、奈良県庁表敬訪問、ホームステイ

12月17日（木）

Aコース：越前和紙の里・越前竹人形の里見学、大本山永平寺・藤野巖九郎記念館見学、 日本文化体験（和風旅館泊）

Bコース：商業施設視察、洞爺湖周辺視察、日本文化体験（和風旅館泊）

Cコース：ホームステイ、SHARP ミュージアム視察、商業施設視察

12月18日（金）

A・Bコース：東京へ移動

Cコース：東京へ移動、皇居見学

報告会

12月19日（土）

Aコース1・2号車：浜離宮庭園見学

Aコース3号車：新勝寺見学

Cコース：江戸東京博物館見学

成田国際空港、羽田空港より出国

3 写真

	
12月13日 浅草見学（東京都）	12月14日 グローバル教育フォーラム 赤石和則理事によるセミナー（東京都）
12月13日 参观浅草寺（東京都）	12月14日 赤石和則国际教育论坛理事长的 讲座（東京都）
	
12月14日 グローバル教育フォーラム 赤石和則理事によるセミナー（東京都）	12月14日 日本科学未来館視察（東京都）
12月14日 赤石和則国际教育论坛理事长的 讲座（東京都）	12月14日 视察日本科学未来馆（東京都）
	
12月14日 歓迎会（東京都）	12月14日 歓迎会（東京都）
12月14日 欢迎会（東京都）	12月14日 欢迎会（東京都）

	
12月15日 恐竜博物館見学（福井県）	12月15日 北海道庁表敬訪問（北海道）
12月15日 参观恐龙博物馆（福井县）	12月15日 拜访北海道厅（北海道）
	
12月15日 歓迎交歓会（北海道）	12月15日 歓迎交歓会（北海道）
12月15日 欢迎交流会（北海道）	12月15日 欢迎交流会（北海道）
	
12月15日 奈良県立高取国際高等学校との交流・訪日記念植樹（奈良県）	12月15日 奈良県立桜井高等学校との交流・訪日記念植樹（奈良県）
12月15日 奈良县立高取国际高中学校行交流、参加访日纪念植树活動	12月15日 奈良县立桜井高中行交流、参加访日纪念植树活動

	
12月15日 日本文化体験（和風旅館泊） （奈良県）	12月16日 福井県庁表敬訪問（福井県）
12月15日 日本文化体験（下榻日式旅館） （奈良県）	12月16日 拜訪福井県庁（福井県）
	
12月16日 福井県立足羽高等学校との交流・訪日記念植樹（福井県）	12月16日 福井県立丸岡高等学校との交流・訪日記念植樹（福井県）
12月16日 学校交流、訪日記念植樹（福井県立足羽高中）（福井県）	12月16日 学校交流、訪日記念植樹（福井県立丸岡高中）（福井県）
	
12月16日 福井県立武生東高等学校との交流・訪日記念植樹（福井県）	12月16日 ホームビジット（福井県）
12月16日 学校交流、訪日記念植樹（福井県立武生東高中）（福井県）	12月16日 做客日本家庭（福井県）

	
12月16日 北海道コカ・コーラボトリング工場視察（北海道）	12月16日 北海道札幌東高等学校との交流・訪日記念植樹贈呈（北海道）
12月16日 視察北海道可口可乐瓶装工厂（北海道）	12月16日 学校交流、访日纪念植树（北海道札幌东高中）（北海道）
	
12月16日 北海道札幌東陵高等学校との交流・訪日記念植樹贈呈（北海道）	12月16日 北海道千歳高等学校との交流・訪日記念植樹贈呈（北海道）
12月16日 学校交流、访日纪念植树（北海道札幌东陵高中）（北海道）	12月16日 学校交流、访日纪念植树（北海道千岁高中）（北海道）
	
12月16日 ホームビジット（北海道）	12月16日 東大寺・奈良公園見学（奈良県）
12月16日 做客日本家庭（北海道）	12月16日 参观东大寺、奈良公园（奈良县）

	
12月16日 奈良県庁表敬訪問（奈良県）	12月16日 ホームステイ（奈良県）
12月16日 拜访奈良县厅（奈良县）	12月16日 住宿日本家庭（奈良县）
	
12月17日 越前和紙の里・越前竹人形の里見学（福井県）	12月17日 大本山永平寺見学（福井県）
12月17日 参观越前和纸之乡・越前竹人形之乡（福井县）	12月17日 参观大本山永平寺（福井县）
	
12月17日 藤野厳九郎記念館見学（福井県）	12月17日 日本文化体験（和風旅館泊）（北海道）
12月17日 参观藤野严九郎纪念馆（福井县）	12月17日 体验日本文化（下榻日式旅馆）（北海道）

	
12月17日 日本文化体験（和風旅館泊） （北海道）	12月17日 SHARP ミュージアム視察（奈良県）
12月17日 体験日本文化（下榻日式旅館） （北海道）	12月17日 視察夏普博物館（奈良県）
	
12月18日 報告会（東京都）	12月18日 報告会（東京都）
12月18日 报告会（东京都）	12月18日 报告会（东京都）
	
12月19日 浜離宮庭園見学（東京都）	12月19日 新勝寺見学（千葉県）
12月19日 参观滨离宫庭院（东京都）	12月19日 参观新胜寺（东京都）

4 参加者の感想（抜粋）

○今回の訪問で印象が深かったのは2点で、日本の社会的弱者に対する関心と、匠の技の細かさです。

日本には多くの視覚障害者・車椅子の老人と、幼児のための特殊な設備が多く備えられています。多くの場所で視覚障害者用点字ブロックや車椅子用のエレベーター、授乳室があるのを発見しました。福井県の国際交流センターには階段と会議室に点字ブロックがあり、恐竜博物館にも入り口には無料の車椅子とベビーカーが用意され、永平寺にはエレベーターがありました。中国にもよく似た設備はありますが、日本の方がより万全だと思いました。

○私は日本に来る前に、日本のサービス業の態度がとても良いと聞いたことがあります。自分が実際に来て発見したのは、ただ良いということではなく、非常に良いということです。道で出会った時、お辞儀をして挨拶をしてくれたり、到着時に玄関の外で迎えてくれたり、離れてもずっと手を振って私達を見送ってくれたりしました。ある日の朝、私達には気づかないほどですが、バスに何らかの事情があったようで、午後に乗車すると、運転手さんがなんと乗客に向かいお詫びしました。おそらく日本人にとってはよくあることなのでしょうが、私達にとっては信じられないことです。まさにここに差があり、これも観光業界の発展を促進する重要なことなのだと思います。

また、日本人の友好的なおもてなしは、予想を越えたものでした。ホストファミリーの家族と、一緒に食事をした時やお店に寄った際、いつも先に私達の意見を尋ねてくれました。クリスマスが近かったので、ホストファミリー家族から「何かプレゼントを贈りたい」と言われ、私達はあれこれとお断りましたが、結局、わからないうちに買っておいてくれ、お別れの時に小さなプレゼントをくれました。これには私達は本当に感動しました。別れる際は、家族はずっとバスの外に立って、手を振って私達を見送ってくれました。

この2点を私は周りの人たちに伝えたいです。

○最も印象深かったのはホームビジットです。日本の人々はとても親切でコミュニケーションもほとんど言葉の問題がなく、日本学生の英語のレベルは予想外でした。発音が正しいというより、単語の量が多く、とても楽しく交流ができました。日本のお母さんに連れられてお好み焼きを食べに行きました。食卓では全然堅苦しいことなく、楽しくお話し美味しく食べました。今回の経験は非常に貴重な経験で、一生の宝物として大事にしたいと思います。

自分の国に帰ってから、周りの人と分かち合いたいことは、第一に日本の美食です。日本料理は見た目もよく、味も美味しいです。私のように中国で日本料理が大好きな人にとっては、今回は素晴らしいご馳走を頂くことができました。第二に分かち合いたいことは、日本の環境保護に対する様々な対策です。例えばゴミの分別です。今中国ではゴミの分別は存在しますが、国民の積極性は日本ほど高くありません。恐らく普及対策の強化が足りないのだと思います。もし、皆がごみを分別するメリットを理解すれば、もっと積極的に取り組むでしょう。

今回の訪問により、日本に対して非常に良い印象を持ちました。日本は秩序立って

て、清潔で、礼儀正しい国です。これらのすべては、私達の学ぶべきものだと思います。日本の良い習慣を持ち帰り、長を取り入れ短を補い、祖国を建設することが出来るよう頑張りたいと思います。

○最も印象深かったのは、ホームビジットです。私達が訪問した家庭には私達と同世代の娘さん2人がいて、交流ができてとても楽しかったです。私達は、美味しい食事、アニメや漫画、趣味などについて話し、文化の交流に国境はないと感じました。お母さんは、日本の特色のある晩御飯と手作りの食後のデザートを準備してくれ、日本の家庭の温かさと真心を感じました。私が「名探偵コナン」を好きだと知り、Sさんは、「名探偵コナン」を特別に見せてくれました。本当に楽しかったです！彼らはとてもフレンドリーで、まるで自分の家に帰ったような感覚に陥りました。

帰ったら、私はこの経験を家族や同級生に話したいと思います。日本の生徒は本当にかわいくて、交流の時も全く堅苦しい様子もなく、本当にフレンドリーでした。また、日本の抹茶はとても美味しかったです。たくさん買ったので、クラスメートにあげて味わってもらおうつもりです。

最後に、日本側の温かい受入れに感謝します。ありがとうございました。

○まず、浅草寺です。浅草寺では古風で素朴な雰囲気を感じました。香炉と木造建造物のレトロな趣は北京の四合院の醸し出す雰囲気とも違い、古都・麗江の山水のゆるやかな流れとも違っていました。ここは日本、東京都なのです。伝統的な和服に身を包んだ老人や少女、美味しそうな匂いで人をひきつける和菓子、リズミカルな響きの日本語。土地の人ではなくても、深い感動を覚えました。それは人であるかもしれませんが、灯であるかもしれませんが、心の中を暖かく照らしてくれました。

もう一つは、コーディネーターです。Bコース1号車のコーディネーターは、とても可愛い女性です。とても温かく、常に元気満々です。彼女はとても細やかで、毎回何かする前には、優しく、「これでどうですか？」とか「いいですか？」と聞いてくれます。同時に彼女はユーモアもあり、常に私たちを大声で笑わせてくれました。

さらには、学校交流とホームビジットです。日本の高校生は本当にフレンドリーで、私たちのために一生懸命歓迎会と交流会を準備してくれました。ホームビジットはとても印象深かったです。Iさんのお父さんは兵士だったそうで、彼女は大変申し訳ないと言いました。彼女は長春に生まれ、11歳でお父さんと会えなくなりました。彼女が言うには、お父さんは戦争を望まず、日中が永遠に平和であることを望んでいたそうです。満面に懐かしい表情で、「長春はどのような所ですか？」と私たちに聞いた時、心の琴線に触れたような気がしました。

私は、自らが経験したこと、見たこと、聞いたこと、感じたことを周りの人に伝えたいと思います。そして、「日本の人々はとても素晴らしい。」と真摯に伝えたいと思います。

○日本人のきめ細かい仕事ぶりに対して、深い印象が残っています。例えば、エレベーターのドアの両側に操作ボタンがあり、人にやさしい設計だと思いました。また、温泉に入るときは皆ルールを守り、エスカレーターに乗る際は、急がない人は皆左側に立つ

て急いでいる人は右側を利用できます。至る所に、他人のことを考える気配りがあり素晴らしいです。一方で、多くの中国人は自己中心の考えの傾向にあり、逆に不幸になってしまう面もあると思います。例えば、赤信号を守らずに交通事故を起こし、命を落したり、他人に損害を与えたりすることです。

一般の日本人は私達に対して非常に親切で、日本の子供たちも聡明で優しいです。今回、日中両国の青年たちが心を開いて交流を行ったことは、日中両国の平和友好の基礎になり、日中両国の明るい未来に繋がると思います。

近年、両国の間に好ましくないこともあります。両国の国民の友好に悪影響を与えることはできないと思います。又、意見の相違があっても、両国の様々な分野に共通利益があることは無視できません。私は周りの人々に、日本の一般の人が親切で友好的な感情を受け止め、又、機会があったら日本へ旅行に行ってくださいと勧めたいです。日中両国の友好関係を強めるため頑張りたいです。

○今回の訪日交流における一番意義のある交流活動は学校での交流とホームビジットだと思います。学校では、外国人の先生の英語の授業を体験したり、日本の高校生が日本の民謡「さくら、さくら」を教えてくれたり、また、書道、折り紙、茶道も体験しました。日本の先生、高校生たちはとても友好的で、温かい心を感じました。日本の学校の授業は自由で、先生と学生との関係は「師」だけではなく、「友人」でもあります。又、学校内における様々な部活があり、皆が自分の才能を生かし成長できており大変羨ましいです。

その後のホームビジットでは、きめ細かく、温かいもてなしを受けました。日本の家族と、日本料理やアニメ・漫画、スポーツ選手、中国の都市・学校や私達の将来の夢について語り合い、お互いに理解を深めました。また、心を込めて、私達の故郷へ旅行にきてくださいと伝えました。

帰国したら、周りの人々に今回の友好交流活動の内容、日本の魅力、日本の人々の親切さと友好の心を伝え、また、日本への観光も勧めたいと思います。

○今回の訪日交流を通じて、日本という国そして日本の国民について、より深い理解と認識を得ました。最も印象に残ったのは、日本の学校を訪問し日本人の高校生と交流を行ったことでした。日本の高校生は親切で礼儀正しく、とても友好的でした。ショッピングセンター、ホテルのスタッフもよくお辞儀をして挨拶してくれます。日本の皆さんの礼儀正しさはとても印象深いものですが、中国ではこういうことが少なくなっています。帰国したら、先生、同級生、家族等に、日本で見たことや感じたこと、日本に対する新しい認識を伝えたいと思います。この国のよいところ、学ぶべきところを憚ることなく真実に基づいて伝えることは当然だと思います。

○今回の訪問で最も印象に残っている事は、日本の高校生と交流したこと、そして日本の家庭を訪問したこと。

私が中国の皆さんに伝えたいことは、日本人の生活様式と親切で寛容なことです。言葉が通じなくても、日常作法が異なっても、それが交流の際の障害や気まずいものとはなりません。私たちが真心と熱意をもって日本人の生活様式を理解し、感じようと

すれば、得られる物は大きいでしょう。特に、日本の高校生や家族と交流する際には共通の趣味があります。例えば、アニメやスポーツなどです。実際には日本という国、そして日本人は私たちが思っていたような嫌悪するようなものではありません。それは一部分のことなのです。私たちはもっと視野を広げて心を開くべきです。歴史を繰り返さないと同時に勇気をもって交流をし、日中交流を促進することが、本当の意味で両国国民の利益になり、平和と発展という世界の主流に合致するでしょう。

○今回の訪問で最も印象に残っていることは、日本の科学未来館を見学した際に見た光景です。同じく見学に来ていた日本の小学生は、先生の引率もないのにきちんと整列して見学していたのです。それはとても秩序がありました。その中のある女の子が自分のチケットに何か問題があったようですが、彼女はそれに対して腹を立てることもなく、何度も真剣にチケットを試していました。その姿を見て、日本の子供は小さい頃から「独立」するための教育を受けているのだと感じました。それは私達が強化すべきことです。中国には「三つ子の魂百まで」ということわざがありますが、すでに青年である私達はもっと独立意識を持つべきでしょう。

そして、北海道に来てからは街が整然としていることに驚きました。高層ビルはありませんが、一つ一つの建物が清潔で汚れやゴミがありません。街は中国の大都市のようではありませんが、文化的な雰囲気が出て、街のインフラ建築も近代的な雰囲気を感じました。

また、日本人はとても優しく、日本料理も美味しかったです。帰国したら、私は周りの先生や同級生や親戚に日本のインフラ建築の様子や日本人の中国人に対する態度を伝えたいと思います。私達と日本の先生・同級生が互いに学びあい、助け合うことを望みます。

○私にとって最も印象深かったことは日本のインフラ建設です。

一つ目は身障者のための設備です。その中でも突出していたのは、視覚障害者用点字ブロックです。階段から街頭まで、信号まで、入口まで、さらには屋内まで続いています。清潔であるだけでなく、もっと重要な事は皆が意識的に避けて踏まないようにしている事です。さらに店の中や会社の中、博物館の中にもスロープがあり、車椅子でも使用できるようになっています。これは中国にはないことです。

二つ目は交通です。私は日本の交通建設がすでに多層式になっていると思いました。鉄道やモノレール、トンネルや大型の橋が曲がりくねって取り囲んでいます。恐らく数年もかからないうちに日本は空中交通を発展させ、人々は皆空飛ぶ車で通勤通学するでしょう。

それから、避難経路の設置も至る所で目にしました。とても目立つように設置され、いつでも使用できるようになっています。天井に防火用の噴水装置が設置してあるのを見ました。ゴミの分類の設計もきめ細かでした。しかしながら、英語表記がないものもあり、私たち外国人には識別しにくく、不便であると感じました。

日本人の英語のレベルはあまり高くはありませんでしたが、理解は出来ましたし、それが私たちの訪問に多くの挑戦や楽しみを与えてくれました。

礼儀作法の面では人に会ったら挨拶をし、お辞儀をし、笑顔を見せるという事を学び

ました。そうすれば、冷淡な感じはせず、優しい気持ちになります。日本のお店の店主はとてもきめ細かく、私のために丁寧に値札をとり、包装してくれました。こういった点は私たちには無いことです。

日本の問題としては、人口問題が深刻であることに気づいているにも関わらず、解決方法がまだ見つかっていないこと、歴史認識や伝統文化の保存についてまだ十分ではないということだと思います。

○

(1) 環境分野

日本の環境対策は徹底されています。青い空、澄んだ川、新鮮な空気、森林被覆率も高いです。日本は綺麗な自然景観を有する国です。日本には大きな工場もたくさんありますが、厳しい環境管理を行うことにより、自然環境がうまく保たれています。

(2) 人間・社会文化分野

日本人は友好的な態度で人と接します。彼らは礼儀を大切にします。一つひとつのお辞儀、挨拶、笑顔等を通じて、日本人が礼儀を大切にしていることを感じる事ができました。ホテルの従業員の行き届いたサービス、バス運転手の親切なお手伝い、日本高校生の情熱のあふれる交流、ホストファミリーの温かいもてなし等、私たちに大きな感動を与えてくれました。

帰国後は、

- ① 同級生や家族に環境保護意識をさらに普及したいと考えています。皆がゴミを分別できれば資源の節約になると思います。
- ② 周りの人に「日本人の礼儀を大切にする」ということを教えてあげたいです。そして私自身も、親や年長の方に対するお辞儀一つ、同級生に対する一言の感謝の言葉から始めたいです。

○ホームステイを通じて、日本人の情熱と友情を更に認識することができました。私が英語しか話せないため、一般のホストファミリーと交流するにはある程度の障害があったと感じました。しかし、彼らは熱心に話をしてくれました。ホストファミリーは情熱的で、友好的で、親切なおもてなしをしてくれて、人間的な魅力と人に接する態度の良さを感じることができました。

帰国後、日本で体験したことを友人に説明したいです。特に日本人の責任感、環境保護の意識、人に対する友好的な態度などを友人の皆に教えてあげたいです。日本人の持っている仕事に対する積極性や良い生活習慣、ものの考え方を学ぶよう促したいです。可能であれば日本に来て、中国と異なる歴史文明や飲食文化を味わってもらえるとよいと思います。

また、日本の先進的な科学技術や進んだ経営・管理手法、イノベーション意識については、現場視察や交流を行うだけの価値があると思います。良いものを学び、自分たちに上手く活用する精神を忘れず、中国以外の優れた民族文化・精神的取り組み等を吸収・受け入れ、積極的かつ正確に自分の日常の生活に取り入れることにより、「中国の夢」を一日も早く実現させたいと考えています。

○ホストファミリーのお宅で、皆でたこ焼きとおにぎりを作りました。材料を一つ一つたこ焼き器に入れ、出来上がったたこ焼きを慎重に鉄板から取り出した時の達成感は、言葉では言い尽くせません。鉄板から立ち上るおいしそうな香りに、心からの喜びと幸せを感じました。早朝、畑道を散歩しました。家々が整って立ち並ぶ農村の光景は、まるで桃源郷のように美しく、心を奪われました。太陽の光が屋根に反射し、きらきら光っている様子は、見ていて爽快で、とてもきれいでした。まるで、このいにしえの村で時間が止まり、年月が切なく美しい花となって咲き開いたように感じました。

帰国したら、クラスメートたちに、私のこの経験を話して分かち合いたいと思います。日本の人々の優しさと情熱も、とても深く思い出に残りました。日本の清潔な道路、まっすぐな横断歩道、黄金に色づく銀杏や燃えるように赤い紅葉、古代と現代が融合して存在するこの都市を、皆に伝えたいです。

○一番印象深かったのは、ホームステイで4歳の女の子と一緒にお風呂に入ったことです。

具体的に言うと、「可愛いですね。」や「はい。」などの簡単な日本語しか話せない私は、とても可愛くて流暢な標準日本語を話すホームステイ先の少女と遊ぶことになり、何時間か経つと、13歳の年齢差を越えた厚い友情が芽生えました。そして、彼女が何を言っているか分からない私は、一緒にお風呂に入りたいと言った彼女に「はい。」と答えてしまったのです。あとからお母さんが教えてくれて、初めてその意味がわかりましたが、はいと言った以上はお風呂に入らないといけません。初めはどうやって交流すればいいかわからず、日本語会話帳も忘れてしまいました。あとで会話帳に載っている質問を色々しました。「日本語が分かりません。」と「分かりましたか。」と言った後は、彼女が一つ一つ簡単な発音を教えてくれました。それでもマスターすることはできず、最後には音楽が私たちの交流の懸け橋となりました。日本の童謡で誰でも歌うことができる<四季の歌>は何回歌ったかわかりません。私の中では彼女は可愛い可愛い小さな妹です。彼女のことをずっと懐かしく思うことでしょう。

○今回の訪問で日本の環境保護の意識が強いことが見てとれました。道にゴミ箱がなくても、むやみにゴミを捨てるということはありません。可住地面積がそれほど大きくない島国であるにもかかわらず、至る所に花や樹木を見ることができます。この素晴らしい環境のもと、山の樹木は何層もの色をなし、空は魅力的な紺碧の空で、白雲が一つ一つ広がり、海鳥は翼を動かして、この心が和らぐ環境の中で飛んでいます。このうっとりするような国日本は、私たちが学ぶ価値があります。一方、日本の街を歩くと、いたるところで人と人が仲睦まじく礼儀を重んじているところを見ることができます。人と会った際にはお辞儀をし、挨拶をします。エスカレーターに乗った際は、皆左側により、右側を急いでいる人に空けています。帰国後、日本人の礼儀正しい点を学び、私の周りに温和で善良な空気を醸し出したいと思います。

○12月15日午後の桜井高校での出来事は忘れることができません。

桜井高校の学生はとても温かく、本当の友人に接するのと同じように私たちに接してくれました。私と同じ学校の生徒も彼らの温かさに感動し、ここを離れたくないと思い

ました。

彼らは私たちの為に、多くの素晴らしいパフォーマンスを準備してくれました。書道、楽器、踊り、歌等が暗黙のうちにうまく組み合わせたり、完璧で、独特で、優れたパフォーマンスとなっていました。私が一番好きなのは伝統的要素を持った楽器演奏で、日本独特の演奏形式をうまく表現してくれました。

パフォーマンスの後は玉入れでした。これも日本の伝統的な遊びで、ルールは詳しく書きませんが、皆楽しかったです。フリーの写真タイムは思い出を作る良い時間でした。皆楽しく触れ合い、古くからの友人のようでした。

別れは避けられないものですが、私のその時の気持ちは複雑でした。悲しい気持ち、どうしようもない気持ち、名残惜しい気持ち、つらい気持ちがありました。

日本の皆様私たちにこのような交流の機会を与えて下さり感謝します。日本の友好的、真摯な態度を忘れることはありません。